

# KOGANEI

CC-Link対応

## シリアル伝送対応マニホールド電磁弁

---

### ユーザーズマニュアル

Ver. 2.0

対応電磁弁

- X80Mシリーズ
- X88Mシリーズ

**CC-Link対応**  
**シリアル伝送対応マニホールド電磁弁**

**ユーザーズマニュアル**

このユーザーズマニュアルは、シリアル伝送対応マニホールド電磁弁を正しくお使いいただくために、シリアル伝送ブロック部分について記述したものです。マニホールド部、バルブ部については制御機器総合カタログ、または個別カタログをご覧ください。  
ご使用前によくお読みいただき、正しくお使いください。  
なお、内容についてご不明な点がございましたら、弊社営業所または、下記技術サービスセンターへお問い合わせください。

《お問い合わせ先》  
株式会社コガネイ 技術サービスセンター  
TEL：〈042〉383-7172

# 目 次

<b>1</b>	概 要 .....	2
<b>2</b>	シリアル伝送ブロックと電磁弁シリーズとの対応 .....	3
<b>3</b>	仕 様 .....	3
<b>4</b>	シリアル伝送ブロック YS1B1について .....	4
	1. 各部の名称 .....	4
	2. スイッチ設定 .....	5
	3. 配 線 .....	6
<b>5</b>	出力デバイス番号と電磁弁ソレノイドの対応 .....	7

概  
要

電磁弁と  
の対応

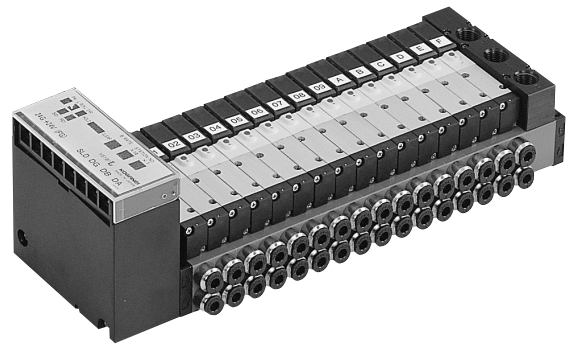
仕  
様

シリアル伝送ブロック  
YS1B1について

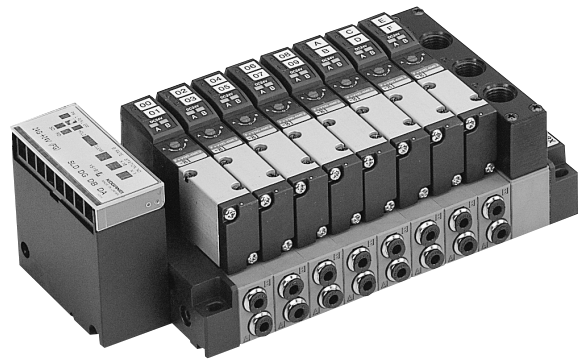
ソレノイ  
ドの対応

## 1 概 要

FAフィールドネットワークCC-Linkのパートナーメーカーとして、CC-Linkとダイレクトに接続できるマニホールド電磁弁を提供します。



FM-SOLID MANIFOLD X80Mシリーズ  
シリアル伝送ブロック形式：YS1B1□



FM-SOLID MANIFOLD X88Mシリーズ  
シリアル伝送ブロック形式：YS1B1□

## 2 シリアル伝送ブロックと電磁弁シリーズとの対応

シリアル伝送ブロック 単品形式	YS1B1□
対応電磁弁シリーズ	FM-SOLID MANIFOLD X88Mシリーズ X80Mシリーズ

## 3 仕 様

### ■一般仕様

項目	形式	YS1B1□
電源電圧		DC24V±10%
消費電力		3W以下(電磁弁を除く)
使用温度範囲		5～50℃
使用湿度範囲		35～85%RH (結露なきこと)
使用雰囲気		腐食性ガスがなく、塵埃がひどくないこと
耐振動		49.0m/s <sup>2</sup>
耐衝撃		98.1m/s <sup>2</sup>
耐電圧		AC1000V 1分間(外部端子一括～ケース間)
ノイズ耐量		900V以上(パルス幅1μs)
絶縁抵抗		10MΩ以上(DC500V絶縁抵抗計にて外部端子一括～ケース間)

※上記の仕様は、シリアル伝送ブロック単体のものであり、設置、稼働については、搭載される電磁弁の仕様も考慮した環境で使用してください。

なお、電磁弁等の仕様については、制御機器総合カタログまたは各電磁弁の個別カタログをご覧ください。

### ■質量

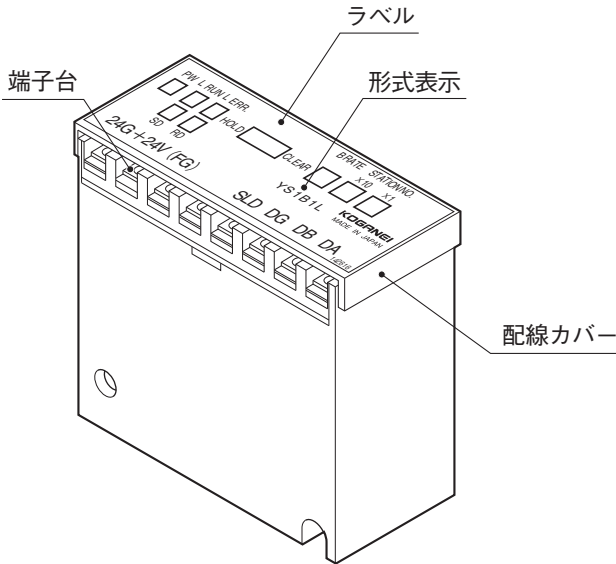
シリアル伝送ブロック	YS1B1□
質 量	100g

## 4 シリアル伝送ブロック YS1B1について

### 1. 各部の名称

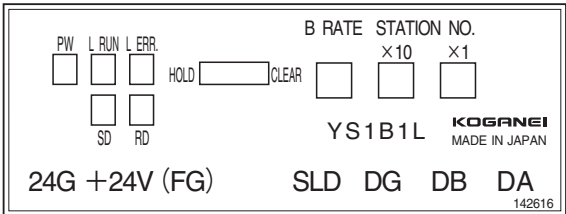
#### ■シリアル伝送ブロック部の名称

●YS1B1□



#### ■LED表示パネル部の名称

##### LED表示パネル面



※イラストはYS1B1Lのパネル面ですが、YS1B1Rについても同様です。

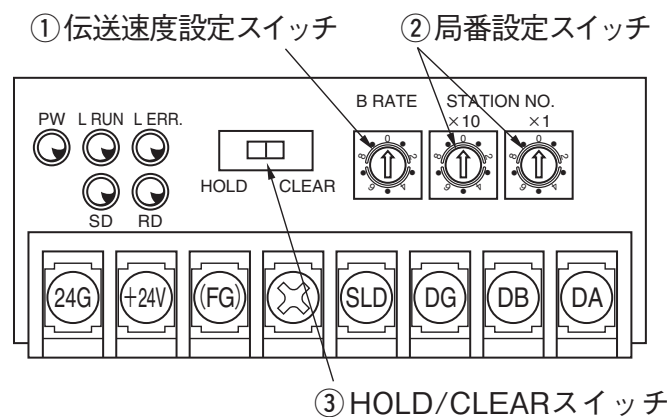
##### LED表示の内容

表 示	内 容
PW	電源ONにより点灯
L RUN	マスタ局から正常なデータを受信することにより点灯
SD	データ送信により点灯
RD	受信データにより点灯
L ERR.	伝送エラーにより点灯し、タイムオーバーにより消灯 局番設定、伝送速度設定ミスにより点灯

## 2. スイッチ設定

配線カバーを開き、各スイッチを設定してください。

注：設定は必ず電源OFF状態で行なってください。



### ① 伝送速度設定スイッチ

伝送速度設定スイッチは、必ず0～4の範囲で設定してください。

設 定	伝送速度
0	156Kbps
1	625Kbps
2	2.5Mbps
3	5Mbps
4	10Mbps

### ② 局番設定スイッチ

局番設定スイッチは、必ず01～64の範囲で、局番が連続するように設定してください。また、接続順に関係なく、局番を設定できます。(局番を重複して設定することはできません。)

スイッチ名	機 能
X10	局番の10の位を設定する。
X1	局番の1の位を設定する。

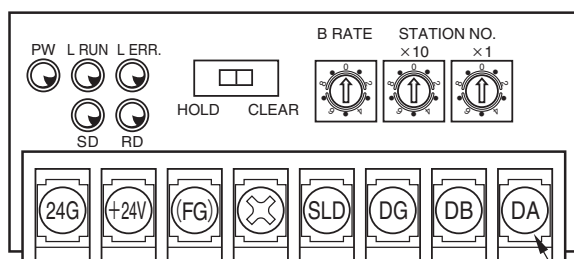
### ③ HOLD / CLEARスイッチ

設 定	機 能
HOLD	エラー発生時に出力を保持する。
CLEAR	エラー発生時に出力をリセットする。

### 3. 配 線

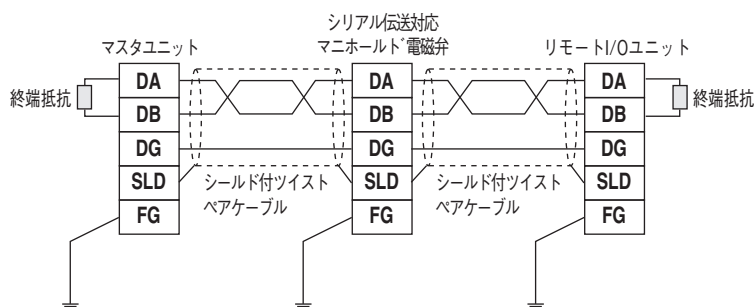
配線カバーを開けて、伝送ケーブルと電源ケーブル(DC24V)を端子台に配線してください。  
端子台の端子ねじはM3ねじです。端子ねじに合った圧着端子(JIS 2805 R形1.25-3 相当品)を使用してください。なお、配線はラベルにしたがって行なってください。

#### ■端子台名称



端子ねじ(M3×0.5)の締付トルクは  
0.5N・m {5kgf・cm} までです。

#### ■接続方法



※ケーブルは、三菱電機(株)殿が推奨するケーブルを使用してください。

終端抵抗は、シリアル伝送ブロック等の末端局の端子台DA-DB間に接続してください。

なお、接続にあたっては、三菱電機(株)殿のカatalog及び取扱説明書等をご覧ください。

#### ■電源ラインの接続

シリアル伝送ブロックの電源用端子(+24V、24G)に電源ラインを接続してください。



1か所の電源から複数のリモートI/Oやシリアル伝送対応マニホールド電磁弁に電源を供給する場合や遠方に電源を供給する場合は、電圧降下を考慮して電源ケーブルの選定をしてから配線を行ない、定格電圧範囲内(24V±10%)の電源電圧を確保してください。

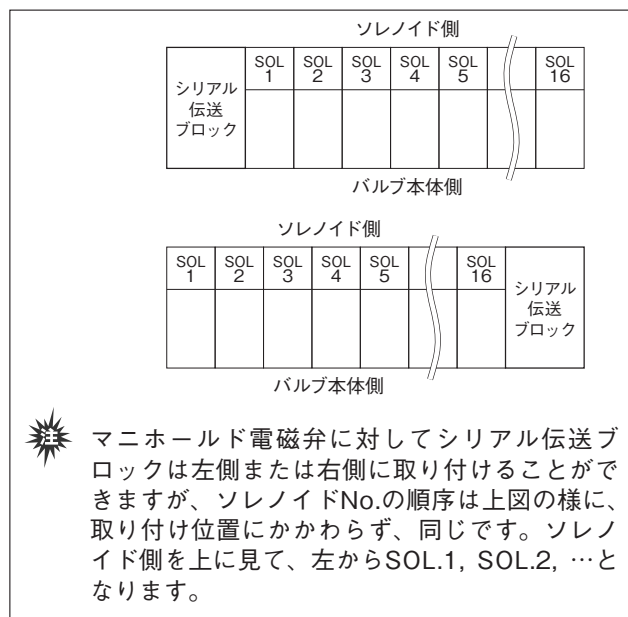
長い配線による電圧降下避けられない場合には、シリアル伝送対応マニホールド電磁弁の近くに別の電源を設置する等の対策を施してください。



## 5 出力デバイス番号と電磁弁ソレノイドの対応

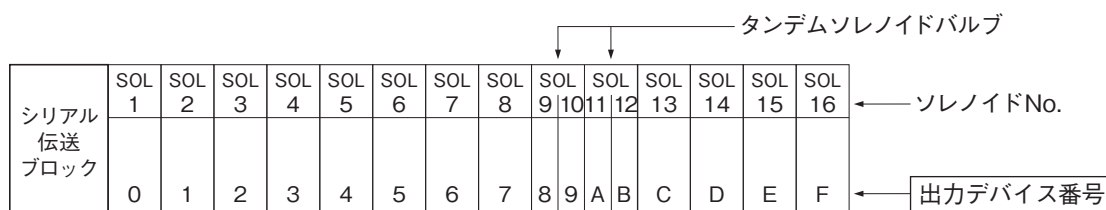
シリアル伝送ブロックは、16点の出力0～Fがありますが、プログラム上の出力デバイス番号と搭載している電磁弁のソレノイドとの対応は下記1.～2.の様になります。

なお、以下の説明では、シリアル伝送ブロックを左側に取り付けた図をもとに説明を行います。



### 1. FM-SOLID MANIFOLD X88Mの場合(シリアル伝送ブロック YS1B1□)

シングルソレノイドバルブ、タンデムソレノイドバルブ(-4ME2)混載時にも、出力デバイス番号に空きが生じない様に詰めて配線してあります。また、ブロックプレート(-BP)のマニホールドベースにも内部は結線してありますので、バルブを搭載しない場合には出力デバイス番号には空きが生じます。

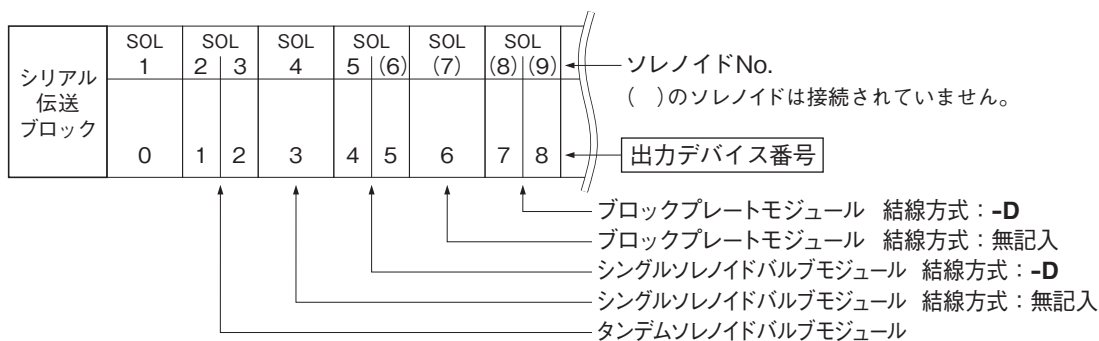


### 2. FM-SOLID MANIFOLD X80Mの場合(シリアル伝送ブロック YS1B1□)

注文形式の中の「結線方式」の指定により、各バルブモジュール毎に異なります。

シングルソレノイド用結線：無記入

タンデムソレノイド用結線：-D



※ 上例の場合、出力デバイス番号 5 (シングルソレノイドバルブ)、6, 7, 8 (ブロックプレート)は、実際にはソレノイドが接続されていない空き番号になります。

※その他、詳細な仕様および注意事項に関してはカタログを参照してください。  
※製品に関するお問い合わせは最寄りの弊社営業所または、下記技術サービス  
センターへお問い合わせください。



**株式会社コガネイ**

技術サービスセンター  
TEL(042)383-7172